

教科	公民	科目	公共	単位数	前期：1 後期：1
レポート提出回数	前期：3 後期：3		最低出席回数	前期：1 後期：1	
使用教科書	公共 (東京書籍)		副教材等	公共学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>(1) 現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ調べ効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実に基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p>					
期	月	内容	レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安	
前	4	公共のとびら	第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	1,2回	
	5	民主政治と私たち		3,4回	
	6			5,6回	
	7	法の働きと私たち		7,8回	
	8	前期定試			
	9	経済社会で生きる私たち			9~11回
後	10	経済社会で生きる私たち	第4期 (10/16)	12,13回	
	11		第5期 (11/13)	14,15回	
	12	自持続可能な社会づくりに参画するために	第6期 (12/11)	16,17回	
	1	後期定試		18~20回	
	2				

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	前期：1 後期：1
レポート提出回数	前期：3 後期：3		最低出席回数	前期：1 後期：1	
使用教科書	政治・経済 (東京書籍)		副教材等	政治・経済 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>(1) 社会の在り方に関わる堅実社会の諸課題の解決に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性の効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安
前	4	民主政治の基本原理		第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	1～3回
	5	民主政治の基本原理			4～6回
	6	日本国憲法の基本原理			7～9回
	7	日本の政治機構			10～12回
	8	前期定試			
	9	世界の言語, 宗教と人々の生活			13～15回
後	10	現代政治のしくみ		第4期 (10/16)	16～18回
	11			第5期 (11/13)	19～21回
	12	現代の国際経済		第6期 (12/11)	22～24回
	1	後期定試			25～27回
	2				28回

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。